

中国語母語話者の日本語の 事実条件文の習得について

孟

慧

はじめに

日本語の授業では、初級から中上級にかけて条件文の様々な用法が文型として登場する。日本語の条件文は用法と表現形式が多いことから日本語学習者の難しい学習項目だと言われる。先行研究によると、日本語の条件文は5つの基本的なタイプに分けられる。仮説条件文、反事実条件文、一般条件文、反復条件文、事実条件文である。

- (1) この薬を飲めば、熱が下がるだろう。〈仮説条件文〉
- (2) この薬を飲めば、熱が下がったのに。〈反事実条件文〉
- (3) 解熱剤を飲めば、熱は下がる。〈一般条件文〉
- (4) 私は、この薬を飲めば、熱が下がる。〈反復条件文〉
- (5) 薬を飲んだら、熱が下がった。〈事実条件文〉

李(2011)は、事実条件文は偶然的・一回的事態を表すタクシス性を持つと述べている。中国語では、このようなタクシス性を持つ時間関係を表す複文は「条件文」とされていない。このため、筆者は、中国人日本語学習者に対する日本語の事実条件文の指導は要注意ポイントだと考えている。

本稿では、筆者の修士論文である孟(2015)に基づいて論じる。まず、KYコーパスを使って、日本語学習者の事実条件文の使用状況を調査した。その結果、母語を問わず、学習者には、日本人のように事実条件文を使う傾向が見られないことが分かった。また、学習者が事実条件文を使う場合には、誤用が多く見られた。特に中国人母語話者の事実条件文の誤用例が多いという結果がわかった。調査結果を踏まえ、特に中国人日本語学習者が日本語の事実条件文を上手に使えない原因を分析してみた。分析する際には、李(2011)による日本語の条件文のタクシス的關係の特徴を参考にした。

1. 先行研究

日本語の条件表現は従来多く論じられており、定義および分類の仕方が様々ある。従来の研究を見ると、日本語の条件表現は形式的分類と意味的分類に分けられる。

形式的分類：

バ形式、ト形式、タラ形式、ナラ形式

意味的分類：

日本語の条件文の意味的分類について、3つの分類の仕方を取り上げる。

1.1 日本語記述文法研究会（2008）による日本語の条件文の基本的な分類と意味用法

日本語記述文法研究会（2008）では、日本語の順接条件節が5つの基本的なタイプに分けられている。

「仮説条件文」

従属節も主節もまだ起こっていない事態である条件文を仮説条件文という。

仮説条件を表す代表的な形式は「ば」「たら」「と」「なら」である。

- (6) 雨が降れば、きっと気温が下がるだろう。
- (7) 受付で聞いたら、教えてくれるだろう。
- (8) この薬を飲むと、痛みがおさまりますよ。
- (9) 北海道に行くなら、格安チケットを使ってくださいね。

「反事実条件文」

反事実条件とは、従属節・主節ともに反事実の事態であり、予測された因果関係が実現しなかったことを表す。反事実条件は「ば」「たら」「なら」で表すことができる。

- (10) 雨が降れば、延期になったのに。
- (11) もっと勉強したら、成績が上がるのに。
- (12) 学生なら、学生割引が使えるのに。

「一般条件文」

自然の法則や科学的な法則のように、従属節の事態が成立した場合に必ず主節の事態が成立するという関係が、過去・現在・未来の時間に関わらず成立すると考えられる場合に、条件文が用いられることがある。このような条件文を一般条件文という。一般条件は「ば」または「と」によって表されることが多い。

(13) 水を冷やせば氷になる。

(14) セ氏4度になると水の密度は最大になる。

「反復条件文」

従属節の事態が成立した場合に必ず主節の事態が成立するという関係が繰り返し成立する場合に、条件文が用いられる。このような条件文を反復条件文という。「ば」「と」によって表されることが多い。

(15) 時間があれば、必ず映画を見に行く。

(16) 寝坊をすると、母が怒る。

「事実条件文」

条件文が過去1回の事態が成立したことを意味する場合がある。このような条件文を事実条件文という。事実条件を表す場合は「たら」「と」が用いられる。

(17) 布団に入ったら、すぐ寝てしまった。

(18) ボタンを押すと、おつりが出てきた。

1.2 李（2011）が示している蓮沼・有田・前田（2001）の分類

李（2011）では、蓮沼・有田・前田（2001）における日本語の条件文の分類の仕方が以下のように整理されている。

「仮定条件」

① 仮定条件を表すバ形式

(19) 春になればもう少し暖かくなるだろう。〈予想〉

(20) 資金がたりなければこれ以上事業を拡大するべきでない。〈義務〉

(21) この薬を飲めば、気分がよくなります。〈良い結果〉

② 仮定条件を表すタラ形式

(22) 受付の人に聞いたら、親切に教えてくれるよ。〈仮定的状況の設定〉

(23) この道をまっすぐ行ったら、右手に白い建物があります。

〈単なる状況の設定〉

(24) 大人になったら、パイロットになりたい。〈希望〉

(25) 5時になったら、帰ってくるでしょう。〈起こる事が確実な出来事〉

③ Pが事実の文：タラ形式・バ形式

(26) ここまでくれば、あとは一人で帰れます。〈Pに基づく判断〉

(27) それだけ上手に話せたら、面接試験は心配ないだろう。

〈Pに基づく判断〉

(28) そんなにたくさん食べたら後でお腹が痛くなるよ。〈よくない結果〉

④ 事実反する条件文

(29) お金があれば買えるのに。〈現在の反事実〉

(30) 落ち着いていれば財布を忘れることはなかっただろう。

〈過去の反事実〉

「一般的・事実的条件 バ形式・ト形式・タラ形式」

(31) 体温が上がると汗が出る。〈一般的・習慣的關係〉

(32) その角を曲がると、右手に郵便局があります。〈現実に即した状況〉

(33) ドアを開けると、父が倒れていた。〈発見の状況〉

(34) 兄が殴ると、弟が泣き出した。〈きっかけ〉

(35) 部屋に入ると上着を脱いだ。〈動作の連続〉

(36) 庭には梅もあれば桜もあった。〈並列条件〉

「ナラ条件表現」

(37) あなたが行くなら、私も行くわ。 〈聞き手の気持ち〉

(38) 今月末に引越するなら、そろそろ挨拶にくるはずだ。

〈未来の予測〉

(39) どうせ落第するなら、あんなに努力するんじゃないかった。

〈複雑な推論〉

1.3 李 (2011) による日本語の条件文の分類

李 (2011) は、前田 (1991)・蓮沼・有田・前田 (2001) を参照して、条件的・タクシスの立場から日本語の条件文を分類している。

表 1 李 (2011) 日本語の条件文の分類

条件的	一般的条件	一般的	前件	後件	
			(不問)	(不問)	ト・バ・タラ
タクシスの	非一般的条件	習慣的	事実	事実	ト・バ・タラ
			事実	未実現	ト・バ・タラ
		非仮定条件	事実	反事実	ナラⅠ・ト・バ・タラ
			未実現	未実現	ナラⅡ・ト・バ・タラ
			反事実	反事実	ト・バ・タラ
			事実	事実	ト・タラ
	事態連続性	発現	事実	事実	ト・タラ
		発見	事実	事実	ト・タラ
		きっかけ	事実	事実	ト・タラ

李 (2011) では、日本語のト形式の用法がとりあげられ、条件的・タクシスの関係が説明されている。日本語のト形式の用法を従来の研究から大きく、偶然的・一回的事態を表すタクシス関係と恒常的・多回的事態を表す条件関係に分けることができる。次のような用法は条件関係というより前件と後件が事態連続的な時間的順序を表すと述べている。

部屋に入ると帽子を取った。 〈動作の連続〉

本を読んでいると、突然電話が鳴った。〈発現〉

「タクシス」とは、工藤（1995）によれば、出来事間の時間的順序性である。そういう出来事間の時間関係は「継起性」と「同時性」に分けられている。

李（2011）ではト形式におけるタクシス関係と条件関係を表に示すと次のようになる。

表2 李（2011） ト形式におけるタクシス関係と条件関係

条件関係			タクシス関係			
一般的	習慣的	現実的状況	動作の連続	発見	きっかけ	発現
(ル)ト	(ル)ト	(ル)ト	(ル)ト	(ル)ト	(ル)ト	(テイル)ト
バ	バ			タラ	タラ	タラ
恒常的・多回的			偶然的・一回的			
(継起性)			継起性			同時性

「タクシス関係」における各用法の例を挙げると以下のようにになる。

(40) 部屋に入ると、帽子を取った。〈動作の連続〉

(41) 父が帰ると、子供達が飛びついてきた。〈きっかけ〉

(42) ドアを開けると父が倒れていた。〈発見〉

(43) 本を読んでいると電話が鳴った。〈発現〉

(李（2011） 例（401～404）)

事実条件文の用法については、李（2011）によると、〈偶然的・一回的〉なト形式は、偶然的・一回的に起こった事実的な事態を表す用法である。殆どの場合、「事実的な『たら』」と置き換えることが可能である。ただし、〈動作の連続〉の場合はタラ形式に置き換えることができないそうである。

以上をまとめてみると、日本語の条件表現の意味的分類の仕方は様々あるが、だいたい変わりが見られない。日本語記述文法研究会（2008）では、事実

条件文に関する説明は文章のような形で述べている。事実条件文の用法は詳しく分類されていない。それに対して、蓮沼・有田・前田（2001）では事実条件はより詳しく分類されている。一方、李（2011）は蓮沼・有田・前田（2001）をもとにして事実条件文をさらに分類している。蓮沼・有田・前田（2001）における〈発見の状況〉という用法が、李（2011）では、「発見」と「発現」に分類されている。本研究は学習者向けの研究なので、より分かりやすい分類の仕方を取り上げようとする。本稿では、日本語記述文法研究会（2008）の5つのタイプを踏まえ、KY コーパスから得られた学習者のデータを分類する。また、事実条件文が中国人日本語学習者に上手に使われていない原因を分析するため、李（2011）における事実条件についての詳しい分類の仕方に基づき、事実条件文の中国語訳文を調査しようとする。

2. 調査の概要

本研究の用例はすべて KY コーパスから収集してきたものである。KY コーパスとは、90 人分の OPI テープを文字化した言語資料である。90 人の被験者を母語別に見ると、中国語（C）、英語（E）、韓国語（K）がそれぞれ 30 人ずつであり、さらに、その 30 人の OPI の判定結果別の内訳はそれぞれ、初級 5 人、中級 10 人、上級 10 人、超級 5 人ずつとなっている。日本語記述文法研究会（2008）によれば、事実条件文は「と」と「たら」形式によって表される。学習者の使用状況の分析に必要なデータは「と」と「たら」形式だけであると考えするため、仮説条件文、反事実条件文、一般条件文、反復条件文、事実条件文の5つのタイプの条件文の「と」と「たら」形式だけについてデータを収集した。データを収集する際には、ワードの検索機能を使って 90 人分の会話資料の原稿を読みながら一つずつチェックしてデータを取った。そして、収集してきた被験者用例とテスター用例をそれぞれエクセルに整理した。

整理した被験者用例とテスター用例を日本語記述文法研究会（2008）による条件文の各タイプの定義及び用法に基づき、5 種類に分類した。なお、分類するうちに、「としたら」「とすると」「といたら」「というと」「そうしたら」などのような日本語の順接条件文の基本的な形式ではなく、周辺的と考えられ

る形式の用例がたくさん出た。これらの用法は基本的な条件文のタイプではないとはいえ、動詞などと「たら」「と」が組み合わさって複合辞となり、文中で「たら」「と」条件文の用法と関連のある機能を持つと考えられるので、削らないように処理した。これらの用例は「その他」に分類することにした。

次に、学習者の条件表現の全体的使用傾向を考察する。さらに、学習者の事実条件文の使用状況を分析する。最後に、学習者の事実条件文の使用上の問題点について分析する。

3. 調査結果及び分析

ここでは、学習者の「たら」「と」形式によって表される日本語条件文の使用状況について調査を行う。KY コーパスから抽出した用例を用法に基づいて分類した。用例数を出した上で、次ページ以降の2つの表を作った。

学習者の日本語条件文の使用については、表3、表4を参照しながら分析しようと思う。まず、各用法を含めて全体的に考察する。次に、事実条件文に注目して分析しようとする。今回の調査で収集してきたデータを観察すると、「と」形式より、「たら」形式で表される条件文の用例が多く取れたことがわかる。表3と表4を見ると、学習者にも、日本語母語話者にも、「と」形式と「たら」形式で表される条件文の5つのタイプでは仮説条件文が一番多く使われていることがわかる。反事実条件文、一般条件文と反復条件文はあまり使われていない。事実条件文の用例数も少なかった。日本語母語話者は「と」「たら」形式の替わりで「そうしたら」「そうすると」のような接続の用法が文中で多く使われていることに対して、学習者はあまり使われていない。そして、初級には条件文の用例は現れなかった。事実条件文の用例は中級から現れる。

次に、学習者の事実条件文の使用状況を見よう。表3と表4を見ると、学習者にも、日本語母語話者にも、「と」形式と「たら」形式で表される事実条件文があまり多く使われていないことがわかる。特に、日本語母語話者の用例数は少なかった。KY コーパスはインタビューの形式でデータを収集してきたものである。質問側は主に日本語母語話者によって担当される。日本語母語話者は質問側を担当するので、発話が自由にならず、発話の内容が制限される可能

表3 KY コーパスによる「たら」の用例数

	母語別	レベル	条件文タイプ					機能語			文型	誤用	不明
			仮説 条件文	反事実 条件文	一般 条件文	反復 条件文	事実 条件文	仮説	接続	その他			
日本語学習者	母語話者 中国語	初級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		中級	38	0	2	5	5	0	3	0	7	0	3
		上級	59	0	1	3	9	5	2	5	19	0	1
		超級	31	0	0	2	2	1	0	0	4	0	0
		合計	128 61.84%	0 0.00%	3 1.45%	10 4.83%	16 7.73%	6 2.90%	5 2.42%	5 2.42%	30 14.49%	0 0.00%	4 1.93%
	母語話者 英語	初級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		中級	13	0	9	1	2	0	4	1	2	0	0
		上級	46	0	1	3	3	3	3	0	5	3	3
		超級	32	0	0	1	4	3	3	2	2	0	2
		合計	91 60.26%	0 0.00%	10 6.62%	5 3.31%	9 5.96%	6 3.97%	10 6.62%	3 1.99%	9 5.96%	3 1.99%	5 3.31%
	母語話者 韓国語	初級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		中級	18	0	2	4	0	2	0	0	4	2	0
		上級	48	0	3	9	4	0	7	2	2	5	3
		超級	55	0	0	13	6	6	1	4	7	0	0
		合計	121 58.45%	0 0.00%	5 2.42%	26 12.56%	10 4.83%	8 3.86%	8 3.86%	6 2.90%	13 6.28%	7 3.38%	3 1.45%
	学習者 全体	合計	340 60.18%	0 0.00%	18 3.19%	41 7.26%	35 6.19%	20 3.54%	23 4.07%	14 2.48%	52 9.20%	10 1.77%	12 2.12%
	日本語 母語話者	合計	165 60.44%	1 0.37%	0 0.00%	1 0.37%	14 5.13%	20 7.33%	41 15.02%	4 1.47%	27 9.89%	0 0.00%	0 0.00%

注：仮説：「としたら」「ひょうとしたら」「もしかしたら」

接続：「そしたら」「そうしたら」「だったら」

その他：「とあったら」

文型：「たらない」「たらいけない」

誤用：コーパスによる判断である。

性がある。それで、日本語母語話者のデータの数に影響があったと考える。学習者の事実条件文の用例は少ないとはいえ、用例を分析すると、特徴と問題点が見られる。

表 4 KY コーパスによる「と」の用例数

	母語別	レベル	条件文タイプ					機能語			文型	誤用	不明	
			仮説 条件文	反事実 条件文	一般 条件文	反復 条件文	事実 条件文	仮説	接続	その他				
日本語学習者	中国語 母語話者	初級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		中級	3	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	
		上級	41	0	3	5	1	0	3	7	1	0	6	
		超級	32	0	1	0	1	0	0	6	0	0	1	
		合計	76 65.52%	0 0.00%	4 3.45%	6 5.17%	3 2.59%	0 0.00%	3 2.59%	13 11.21%	1 0.86%	1 0.86%	9 7.76%	116 100%
	英語 母語話者	初級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		中級	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	
		上級	64	0	3	0	5	0	0	6	4	3	5	
		超級	30	0	0	0	2	0	1	9	11	1	1	
		合計	94 63.95%	0 0.00%	4 2.72%	0 0.00%	7 4.76%	0 0.00%	1 0.68%	15 10.20%	15 10.20%	5 3.40%	6 4.08%	147 100%
	韓国語 母語話者	初級	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		中級	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
		上級	31	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	
		超級	19	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	
		合計	55 82.09%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	2 2.99%	0 0.00%	0 0.00%	7 10.45%	1 1.49%	0 0.00%	2 2.99%	67 100%
	学習者 全体	合計	225 68.18%	0 0.00%	8 2.42%	6 1.82%	12 3.64%	0 0.00%	4 1.21%	35 10.61%	17 5.15%	6 1.82%	17 5.15%	330 100%
日本語 母語話者			81 46.91%	0 0.00%	4 2.32%	0 0.00%	4 2.32%	0 0.00%	35 19.95%	50 28.50%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	174 100%

注：接続：「すると」「そうすると」「とすると」
その他：「という」と「によると」
文型：「ないとはいけない」
誤用：コーパスによる判断である。

日本語学習者の事実条件文の特徴の用法

特徴①

超級学習者の用例には特殊な事実条件文の用法があった。主節が過去ではなく、状態動詞である。

ES06 この前、コロラド州に帰ったら、もうあの、カラオケの**まであるんですよ。

KS07 彼は、〈うん〉行くときにはだん、だーれも声をかけてくれなかったんですけど帰ってきたらこんな状況になってますね。

特徴②

日本語母語話者の用例には「たら」「と」形式のかわりに接続詞「そしたら」「そうすると」によって事実条件が表されるものがあった。接続詞で事実条件を表すような用法は学習者にはあまり使われていなかった。

日本人 Sさんが、友達の家、に、〈んー、はい〉遊びに行ったんです、〈はい〉で友達がなくて友達〈はい〉日本人の友達、〈はい〉そしたら友達がいなかったんです、友達の弟がいたんです。

日本人 最初はアルバイトをしたんです、〈あそうですねー〉えー、お金がほしかったから、そしたら、すごく面白かったんです。

日本人 あなたが、次はお友達の家遊びに行ったとしますね、〈ん〉そうすると、そのお友達の家には、そのお友達はいなくて、〈ん〉お友達のお子さんが一人で、お留守番をしていました。

EIM04 西院、えぎからーあの、からーまちー、〈はい〉駅にー、おるった、〈うん〉あの、すーそうしたらーあのーアパートに帰って、〈うん〉あのー帰ってから、あのー、バッグがなくなったんです。

特徴③

資料の量が十分でないので、確実なことは言えないが、一人の学習者は一つの会話資料の中で、事実条件文は「たら」「と」いずれか一つの形式のみ使用していて、両方の形式を使用しているケースはなかった。今回の調査による事

実条件文の使用者母語別と使用状況をまとめると次のようになる。

表 5 事実条件文の使用者母語別と使用状況

母語別	使用 例数	事実条件文			使用 例数
		タラ形式	レベル	ト形式	
中国語母語話者	2	CIH02	中級		
	1	CIL03	中級		
	2	CIM01	中級		
			中級	CIM05	1
	3	CA01	上級		
	1	CAH03	上級		
	3	CAH05	上級		
			上級	CAH06	1
	2	CAH07	上級		
			超級	CS01	1
	2	CS02	超級		
英語母語話者	2	EIM05	中級		
	2	EAH06	上級		
			上級	EAH07	5
	1	EAH08	上級		
			超級	ES01	2
	2	ES02	超級		
	1	ES06	超級		
韓国語母語話者	1	ES07	超級		
			中級	KIM03	1
	3	KA02	上級		
	1	KA03	上級		
			上級	KAH01	1
	2	KS06	超級		
	1	KS07	超級		
合計	3	KS09	超級		
	35				12

日本語学習者の事実条件文の使用上の問題点

収集してきた事実条件文の用例には、英語母語話者と韓国語母語話者より、中国語母語話者のほうが誤用が多く見られた。以下で、学習者の事実条件文の誤用を5つのタイプにまとめた。中国人日本語学習者の事実条件文の誤用はすべてのタイプに現れている。

問題点① 接続の間違い

中国語母語話者の用例に現れた。

CIM05 8時半ぐらいと、〈うん〉起きました。
 (「8時半ぐらいになると、起きました。」)

問題点② 用法の誤用

学習者が事実条件文の用法に理解できなかったことによって起こされた誤用や不自然の言い方。中国語母語話者の用例に現れた。

CS02 この前テレビで、〈ええ〉あの一聞いたら、テレビ見たらあの一
 ひとりの学生がねもう4年生なんですけど、〈は一は〉図書館に
 は2度しかはいらなかったとかー、
 (「この前(テレビで)聞いたのだけれど」)

CA01 急に言われたらわからなくなった。
 (「たら」を使って不自然である。「急に言われてわからなくなった。」)

問題点③ 主節の動詞を省略する際の間違い

中国語母語話者と韓国語母語話者の用例に現れた。

CIL03 京都は一、〈ええ〉、んー、車いっぱいなあ、〈うんうんうんうん〉本当に、これはびっくりしましたにほん来たら、〈うーん〉
どこでも車いっぱいなー、自転車少ないなー(と感じた)、んー、
 でも、お寺いっぱいですセーアンも同じです、お寺いっぱい
 です。
 (「どこでも車いっぱいなー、自転車少ないなーと感じた。」)

- KS06 ドイツにいるその兄も電話で色々話したら、〈はい〉話し方とかがにほんじんっぽいっていうか 笑い 〈笑い〉 そうですか
ええ、〈へえ〉それはそ正直に言いましてええ。
(本来は「話したら、～と思った」だが、直接後件にあたる部分がない。)

問題点④ 文が長すぎ、適当な完結がない

学習者の事実条件文の「たら」形式の用例には、下のような誤用がある。事実条件文の用法は正しく理解されて、「たら」形式を使って表されている。しかし、文の最後まで全部テ形で接続し、事実条件文の文末に「た」で終了するべきところもテ形で表されている。事実条件文が表している事態がどこで終わるかの処理ができなかったと考えられる。中国語母語話者と英語母語話者の用例に現れた。

- CAH05 戦後となったらヤースパースが名声挙げてきてハイデッガーが批判されるようになって、〈んー〉でそんなかで、二人の、あの一、あの一、なんかな、昔の友情、を考えたり、それから今の、現実のあのいあのい、い、昔の友情修復、する余地を探ったりして、〈えー〉面白かったです
(「た」)
- EAH06 あの昨日は、実はですね、〈んー〉えーちょっと体育館に行ってみたら、〈んー〉あの、なんかバトミントンの大会が〈んー〉行われていて〈んー〉で上でトレーニングやろうと〈んー〉もおー思ってた、あのなんか小学校5年生ぐらい〈はいはいはい〉の子供がたくさんいて、なんかやー外人やーとか言ってる〈ふーん〉あのちょっとトレーニングしてるところで、なんかこう囲まってきたですもんーあの一
(「た」)

問題点⑤ 主節動詞の時制の混乱

学習者は事実条件文の用法を正しく理解して、「たら」「と」形式を使って表している。しかし、主節に動詞の時制の混乱が見られる用例はあった。中国語母語話者、英語母語話者と韓国語母語話者に現れる。

- CA01 やっぱ、あの、T先生のかって生活を聞いたら、やっぱりあの日本人らしくないと思ってます。
- EAH07 あれは、東京を見ると、その、漢字で書いたかん、看板を除けば、〈うん〉ここはにほんだというつーい印象は全くない。
- KS07 彼は、〈うんー〉行くときにはだん、だーれも声をかけてくれなかったんですけど帰ってきたらこんな状況になってますね。

以上のように、KY コーパスを使って、日本語学習者の事実条件文の使用状況について調査した。KY コーパスのデータに基づく、事実条件文は学習者にも日本語母語話者にもあまり使われていないという結果が出た。日本語母語話者に使用状況について話を聞くと、日常生活で事実条件文をよく使っているそうである。李・張（2013）では日本語の小説に出てきた「と」形式で表される条件文について調査が行われている。李・張（2013）のデータによると、「と」形式によって表される日本語の事実条件文の用法の用例数は条件文の全体の82%ぐらいを占めていて、仮定条件文の用法の用例数は条件文の全体の10.49%しか占めていないそうである。一方、KY コーパスを使った「と」形式によって表される条件文についての調査のデータでは、学習者全体の事実条件文の使用率は条件文全体の3.64%を占めていて、仮説条件文の使用率は条件文全体の68.18%を占めている。（表4を参照）李・張（2013）で示されているデータと反対の結果が出た。KY コーパスの調査により、「と」形式によって表される事実条件文の用例数には日本語母語話者の用例数も少なかったが、それは日本語母語話者が質問側を担当するので、発話が自由にならず、発話の内容が制限されることが原因であると考えられる。今回のデータでは、学習者には日本人のように事実条件文を使う傾向は見られない。しかも、学習者は事実条件文を使う際に、誤用しやすい傾向が見られる。特に、中国語母語話

者は、英語母語話者と韓国語母語話者より事実条件文の誤用例が多く見られた。

4. 中国人日本語学習者が日本語の事実条件文を上手に使えない原因の分析

次に、中国人日本語学習者は事実条件文が上手に使えないという調査結果を踏まえて、理論・表現の形式・教科書の指導の3つの方面からその原因を分析する。

4.1 日本語と中国語における「条件文」の範囲が違う

李（2011）では、中国語の条件文の分類は日本語の条件文の分類と大きく異なることが指摘されている。日本語の事態連続を表す表現は中国語では条件形式として扱われていないそうである。

李（2011）では、中国語の複句の意味的分類は条件的・非条件的に分けられて、次の表のように示されている。

表6 李（2011） 中国語の複句の意味的分類

中国語の条件文	一般的条件
	假定文
	非假定条件 (前件が事実文)
	理由文
中国語非条件文	事態連続構文
	並列文

表6を表1に対照してわかるように、日本語の条件文におけるタクシス性を持つ事実条件文は中国語では条件文とされていない。事実条件文にそういう特徴があるこそ、中国人日本語学習者の習得上の障害になる大きな原因と考える。

4.2 日本語の事実条件文の中国語訳文には無標形式が多い

日本語の事実条件文は「と」「たら」によって表される。「と」「たら」は日本語の事実条件文においてマークとして働いていると言える。中国語の複句では関連詞がマークに相当すると言える。李（2011）は中国語の複句は基本的に日本語の条件形式もしくは接続詞に当たる関連詞によって条件関係を表すと述べている。

(44) 彼は部屋に入ると、帽子を取った。

(他一进屋，就把帽子摘下来了。)

(李（2011） 例（427）)

しかし、中国語の複句では関連詞を用いずに条件関係を表す場合もある。たとえば

(45) もう一度地下道へはいったら、こんどは阪急電車の乗り場に持って行かれてしまったのである。

井上 靖 『あした来る人』

(于是重新钻回地道，结果这回被带到了阪神电车站。)

(中日対訳コーパス)

上に示した文は、中国語の訳文には関連詞がない日本語の事実条件文である。日本語の条件文においては事実条件文はほかの条件文より、中国語で表されると無標形式になる場合が多いと考えられる。李・張（2013）ではト形式条件文とそれに対応する中国語訳の対応関係が関数検定の方法で考察されている。その結果、無標形式 [p, q] がト形式条件文の「動作連続」と関連度が一番強いとされている。「発見」「契機」の場合、無標形式 [p, q] に訳される傾向もあるという。

李・張（2013）における調査を踏まえて、タラ形式条件文について調査を行った。中日対訳コーパスを使って 16 作品を選び（注 1 を参照）、タラ形式条件

文の例が673個得られた。蓮沼・有田・前田(2001)・李・張(2013)に基づいてタラ形式条件文を意味的に6種類に分類した。李・張(2013)における意味分類が7種であるが、蓮沼・有田・前田(2001)・李・張(2013)によると、タラ形式によって「動作の連続」という用法が表現されにくいそうであるため、本調査では「動作の連続」という用法は扱っていない。

6種類の意味分類は以下のとおりである。

意味分類：Ⅰ「仮定」Ⅱ「反事実」Ⅲ「一般」Ⅳ「発見」Ⅴ「出現」^{注2}
Ⅵ「きっかけ」

中国語の訳文をタラ形式条件文の日本語原文に照らし合わせながら、中国語の訳文における関連詞を取った。673例をまとめた上で、李・張(2013)における9パターンの分類法に基づき、劉ほか(1996)における中国語の複文の関連語句表を参照し、9パターンの分類をさらに改良してみた。9パターンに含まれていない関連詞は意味や形式が近いものを1つのパターンにまとめようと考えて、9パターンの分類にさらに4パターンを増やし、13パターンにした。

中国語訳の13パターン(注3を参照)は以下のとおりである。

中国語訳パターン：①[p, q] ②[(一) p, 就 q] ③[p 后, q] ④[p 时, q] ⑤[如果 p, q] ⑥[一旦 p, q] ⑦[既然 p, q] ⑧[只要 p, q] ⑨[每当 p, q] ⑩[果真 p, q] ⑪[即使 p, q] ⑫[就算 p, 但是 q] ⑬[直訳ではない]

6種類の意味分類と13種の中国語訳パターンの組み合わせを表で表すと以下のようになる。

表7 タラ形式条件文の意味分類と中訳パターンの組み合わせ

中国語訳 \ 意味分類	仮定	反事実	一般	発見	出現	きっかけ
① p, q	126 例 22.82%	5 例 8.77%	2 例 13.33%	5 例 45.45%	7 例 63.64%	15 例 55.56%
② (一) p, 就 q	43 例 7.79%	1 例 1.75%	6 例 40.00%	3 例 27.27%	1 例 9.09%	4 例 14.80%
③ p 后, q	28 例 5.07%					2 例 7.41%
④ p 时, q	16 例 2.90%		1 例 6.67%	2 例 18.18%	1 例 9.09%	2 例 7.41%
⑤ 如果 p, q	239 例 43.30%	43 例 75.44%	1 例 6.67%			2 例 7.41%
⑥ 一旦 p, q	19 例 3.44%		2 例 13.33%			
⑦ 既然 p, q	6 例 1.09%					2 例 7.41%
⑧ 只要 p, q	15 例 2.72%	1 例 1.75%				
⑨ 每当 p, q			3 例 20.00%		1 例 9.09%	
⑩ 果真 p, q	1 例 0.18%					
⑪ 即使 p, q	1 例 0.18%	1 例 1.75%				
⑫ 就算 p, 但是 q	1 例 0.18%					
⑬ 直訳ではない	57 例 10.33%	6 例 10.54%		1 例 9.10%	1 例 9.09%	
合 計	552 例 100%	57 例 100%	15 例 100%	11 例 100%	11 例 100%	27 例 100%

表7を見ると、事実的条件「発見」「出現」「きっかけ」の3つの分類の中国語訳の13パターンには① [p, q] に訳される場合が一番多いことがわかる。つまり、タラ形式で表される日本語の事実条件文には中国語における無標形式によって表現される場合が多いことがわかった。無標形式の文には関連詞とい

うマークが付いていないので、前の文と後ろの文が表す意味だけによって文の全体の意味を把握するしかない。中国人母語話者の言語活動の思考のルートを想像すると、無標形式の文は関連詞が付いている文のようにパッと見ればすぐわかるような文章ではない。文を理解するために頭で意味の整理をする必要がある。中国の小学校の国語の授業で教師が文を教える際に、一般的には、関連語句から導入し、関連語句によって文を作らせるようである。無関連詞の文は中国人の小さい子供にとってやや複雑な表現であろう。中国人日本語学習者（特に初級・中級のような日本語の勉強をはじめたばかりの中国人日本語学習者）が日本語を習う際、無意識的に中国語と対照して覚える場合が多く見られる。無関連詞に対応する日本語の文型は中国語で考えると複雑な表現であるため、習得する際に、理解できなかったりして、運用する際にうまく使えなかったり、避けて使わなかったりするようになるのである。以上のように、日本語の事実条件文はそれに対応する中国語訳が無標形式によって表現される場合が多いことから、中国人日本語学習者にとって習得しにくいと考えられる。この違いは、日本語と中国語がそれぞれ膠着語と孤立語であるという違いとも関連していると考えられる。

4.3 教科書の指導における問題点

中国人日本語学習者は日本語の事実条件文を上手に使えない原因については上で述べた2点のほか、教科書の指導における問題点も原因の一つと考える。用法の導入の不足や用法の説明の仕方には問題点が存在すると思う。次に、中国人日本語学習者によく使われる3つの教科書を取り上げて問題点を説明する。

3つの教科書における事実条件文の各用法の導入順、用法及び例文をまとめると以下のとおりである。

表 8 教科書における事実条件文の導入

本	レッスン	用法	例文
『新版中日交流 標準日本語』	初級下 第 37 課	発見	窓を開け <u>と</u> 、 富士山が見えました。
『新編日語』	第二冊 第 2 課	「と」 二つ事項の並存	駅に着く <u>と</u> 、 電車はもう出たあとでした。
	第二冊 第 9 課	「たら」共起 (共に起こること)	私がきれいに掃けと言っ <u>たら</u> 、 生意気だと言ったんです。
	第四冊 第 5 課	きっかけ	男は受話器をとった。「もしも し…」と応答する <u>と</u> 、 相手は名前を告げた。
		動作の連続	男は電話機を置く <u>と</u> 、 またベッドにもどった。
『みんなの日本語 翻訳・文法解説 中国語版』	中級 I 第 2 課	きっかけ	薬を飲んだら、 元気になりました。
		発見	うちに帰ったら、 猫がいなかった。

ここでは、表を観察しながら問題点を探す。3つの教科書にはともに事実条件文の用法の導入の不足という問題が存在することが見られる。ほかに、『新編日語』による〈「と」二つの事項の並存〉と〈「たら」共起〉用法に関する説明が似ていて区別できないと感じた。また、『みんなの日本語』では、「きっかけ」用法についての説明はあまり適切ではないと思う。「動作の連続」用法の説明であるように感じる。

「X たら、Y た」表示動作 X 结束之后，发生了 Y 的结果。

訳： 「X たら、Y た」は X の動作が終わってから、Y の結果が起こったことを表す。

- 例 (46) 薬を飲んだら、元気になります。
(47) カーテンを変えたら、部屋が明るくなった。

(『みんなの日本語 中級 I 翻訳・文法解説 中国語版』第 2 課)

以上で、中国人日本語学習者によく使われる3つの教科書における事実条件文の用法の導入を見た。3つの教科書を観察すると、事実条件文のすべての用法は一度に導入されるわけではないようである。だいたい初級の後半や中級の前半から少しずつ導入されている。初級・中級レベルの学習者は日本語に対する認識はまだほとんどわからない状態であるため、文法の指導では詳しくかつ適切に説明しないと学習者がわからない。運用する際に誤用してしまう。学習者のレベルが上がるにつれて、複雑な事実条件文の用法が導入されている。この際に、すでに習得した用法をまとめとして対比させるなどして、各用法の間の関連と違いを説明することが大切だと思う。

おわりに

本稿は中国語母語話者の事実条件文の習得について考察した。学習者は事実条件文の使用上に特徴と問題点が見られる。学習者には日本人のように事実条件文を使う傾向が見られない。しかも、学習者は事実条件文を使う際、誤用しやすい傾向が見られる。特に、中国語母語話者は、英語母語話者と韓国語母語話者より事実条件文の誤用例が多く見られた。

また、調査結果を踏まえて、理論・表現の形式・教科書の指導の3つの方面から中国語母語話者の事実条件文の誤用の原因を分析した。日本語の事実条件文は日本語では有標形式によって表されるのに対して、中国語では無標形式によって表されるところが、中国語母語話者の誤用が生じやすい原因の一つと考える。

学習者の事実条件文の使用状況を調査した際に、収集した用例数が少数であったため、今回十分な考察ができなかった。今後、違うコーパスを試して調査を行う予定である。また、事実条件文の下位分類「動作の連続」用法の学習者の使用状況について考察しようと考えている。先行研究によると、「動作の連続」用法は「と」形式または動詞テ形によって表されるそうである。学習者が「動作の連続」用法を使用する際に、どちらの形に傾向があるかに興味があるので、今後の課題としたい。

注

1. 『中日対訳コーパス』所収の、日本の作品 16 作品から採取した計 673 例を対象に分析をした。作品は発表年代順に並べている。

井上靖 1955 『あした来る人』新潮文庫

三島由紀夫 1956 『金閣寺』新潮社

安部公房 1962 『砂の女』新潮社

中根千枝 1967 『タテ社会の人間関係』講談社

石川達三 1968 『青春の蹉跎』新潮社

平川祐弘 1969 『マッテオ・リッテ伝』平凡社

田中角栄 1972 『日本列島改造論』日刊工業新聞社

中根千枝 1972 『適応の条件』講談社

吉田茂 1978 『激動の百年史』白川書院

村上春樹 1987 『ノルウェイの森』講談社

村山孚、守屋洋 1987 『中国古典百言百話』PHP 研究所

俵万智 1987 『サラダ記念日』河出書房新社

岡本常男 1992 『心の危機管理術』現代書林

乙武洋匡 1998 『五体不満足』講談社

『日本経済の飛躍的な発展』（書誌情報不明）

『ひとりっこの上手な育て方』（書誌情報不明）

2. 表 2 を参照。李・張（2013）における「出現」の用法は表 2 の「発現」の用法と同様。

3. 中国語訳パターンを次の 13 種類に分類した。

① 「p, q」：無標形式

② （一）p, 就 q：“p, 就 q”、“p, 便 q”、“一 p, q”、“一 p, 就 q”、“一 p, 便 q”

③ p 后, q：“p 以后, q”、“p 后, q”、“p 后, 就 q”など。

④ p 时, q：“p 时, q”、“p 的时候, q”

⑤ 如果 p, q：“（如果/假如/如/要是）p, q”、“（如果/假如/如/要是）p, 就 q”、“（如果/假如/如/要是）p 的话, q”、“（倘若/若）p, 就 q”など。

- ⑥一旦 p, q : “一旦 p, q”、“一旦 p, 就 q”、“一旦 p 后, 就 q” など。
- ⑦既然 p, q : “既然 p, q”、“既然 p, 就 q”、“既然 p, 那么 q”
- ⑧只要 p, q : “只要 p, q”、“只要 p, 就 q”、“只要 p 以后, q” など。
- ⑨每当 p, q : “每次 p, 就 q”、“每当 p, 就 q”、“每当 p 的时候, 就 q”
- ⑩果真 p, q : “果真 p, q”
- ⑪即使 p, q : “即使 p, q”、“即便 p, 也 q”
- ⑫就算 p, 但是 q : “就算 p, 但是 q”
- ⑬直訳ではない：直訳ではない例。例えば：「何、それ？勉強だったら、私も負けないわよ。」
（“是什么？是学习吗？我会比你更用功。”）

参考文献

- 工藤真由美（1995）『アスペクト・テンス体系とテキスト』 ひつじ書房
- 高見澤孟、ハント蔭山裕子、池田悠子、伊藤博文、宇佐美まゆみ、西川寿美（2004）『新・はじめての日本語教育1』 アスク出版
- 日本語記述文法研究会（2008）『現代日本語文法6 第11部 複文』 くろしお出版
- 蓮沼昭子、有田節子、前田直子（2001）『日本語文法 セルフマスターシリーズ7 条件表現』 くろしお出版
- 北京市工农教育研究室、北京人民广播电台（1981）《语文基础知识六十讲》第十二讲赵寿安 北京出版社
- 孟 慧（2015）『日本語の事実条件文についての日中対照と中国語母語話者の習得についての研究』 修士論文 専修大学
- 李 光赫（2011）『日中対照から見る条件表現の諸相』 風詠社
- 李 光赫、張 北林（2013）「関数検定から見たト条件文の日中対照研究」『国語学研究 52』 東北大学大学院文学研究科「国語学研究」刊行会 2013
- 刘月华、潘文娉、故韡（著） 相原茂（監訳） 片山博美、守屋宏則、平井和之（共訳）（1996）『現代中国語文法総覧』 くろしお出版

参考資料（教科書類）

- 周平、陈小芬（2009）『新編日語（修訂本）1』上海外语教育出版社
- 周平、陈小芬（2010）『新編日語（修訂本）2』上海外语教育出版社
- 周平、陈小芬（2011）『新編日語（修訂本）3』上海外语教育出版社
- 周平、陈小芬（2011）『新編日語（修訂本）4』上海外语教育出版社
- 人民教育出版社、光村図書出版株式会社（2005）『新版中日交流標準日本語
初級 上、下』人民教育出版社、光村図書出版株式会社
- 人民教育出版社、光村図書出版株式会社（2008）『新版中日交流標準日本語
中級 上、下』人民教育出版社、光村図書出版株式会社
- スリーエーネットワーク（1998）『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊』スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク（1998）『みんなの日本語 初級Ⅱ 本冊』スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク（2012）『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 本冊』スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク（2013）『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版 本冊』スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク（2008）『みんなの日本語 中級Ⅰ 本冊』スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク（2012）『みんなの日本語 中級Ⅱ 本冊』スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク（1998）『みんなの日本語 初級Ⅰ 翻訳・文法解説 中国語版』スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク（2012）『みんなの日本語 初級Ⅰ 第2版 翻訳・文法解説 中国語版』スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク（1999）『みんなの日本語 初級Ⅱ 翻訳・文法解説 中国語版』スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク（2009）『みんなの日本語 中級Ⅰ 翻訳・文法解説 中国語版』スリーエーネットワーク

スリーエーネットワーク (2012) 『みんなの日本語 中級Ⅱ 翻訳・文法解説
中国語版』 スリーエーネットワーク

参考資料 (コーパス)

『日本語学習者の話し言葉を調査するタグ付き KY コーパス』

科研グループ「コーパス分析に基づく認知言語学的構文研究と日本語教育文
法への応用」サイトを参照 <http://jhlee.sakura.ne.jp/kyc/corpus/> (2015 年 5
月 8 日)

『中日対訳コーパス』 CD-ROM 版 2003.7 第一版

北京日本学研究中心企画・開発 研究代表者徐一平、馮志偉、嚴安生